

平成25年度 第2回新潟市子ども・子育て会議放課後児童クラブ検討部会 概要

日時：平成25年度11月21日（木）

場所：新潟市役所第1分館 1-101 会議室

議事内容	<p>(1) 第1回放課後児童クラブ検討部会の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回で委員から依頼された資料について説明。 ふれあいスクールについて（地域と学校ふれあい推進課西脇副参事より説明） 指導員の業務指針について（市社会福祉協議会地域福祉課小林課長補佐より説明） ・保護者の子育て支援という観点からだけでなく、子ども支援にも視点をあて、放課後児童クラブの条例に定める具体的基準を検討していくことを再確認。 <p>(2) 国の専門委員会の検討内容と新潟市の現状と方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から内容を説明し、質疑、回答、意見交換を行う。委員の主な意見は下記のとおり。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりクラブの指定管理についての質問があり、事務局より、今後のひまわりクラブの指定管理期間などについて回答。 	
委員の主な意見	【職員の資格】	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員への必要な研修は市としても行っていくべきである。 ・指導員のケアも今後非常に大事になっていくと思われる。 ・様々な障がいの専門的知識を持つ指導員の配置が必要。
	【職員の員数】	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年受入れや障がい児の対応など、指導員の員数が足りるか心配。
	【児童の規模】	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な児童の規模やスペースを確保した時に待機児童を出さないことができるか懸念される。
	【施設・整備】	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年受入れに際し、人数の溢れているクラブの施設整備について、早めに手を打つべきである。 ・大きな子がいると動く範囲が広い。施設確保が懸案材料。 ・適正な児童の規模やスペースを確保した時に待機児童を出さないことができるか懸念される（再掲）。 ・施設の規模に子どもを合わせるのではなく、子どものニーズに環境の方を合わせていく視点を持つことが必要。 ・きちんと生活するスペースや静養するスペースを確保してあげないと、子どもたちが安心して過ごせる場所や、魅力がある場所にならない。 ・高学年、特に女子の受入れにはトイレ等設備面の配慮が必要。
	【開所時間】	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全育成とのバランスを考えると、時間延長のニーズが本来どういうものなのか、よく分析し、単に楽だから、安心だからということではなく、家庭としての教育の時間も持てることを配慮したうえでの開所時間としていかなければならない。 ・生活の場という面を強調しすぎ、保護者側の視点にだけたった開所時間とせず、家庭で子どもと過ごす時間とのバランスを深く追求することが必要。
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいスクールと放課後児童クラブとは両者が独立して、良いところを活かしつつ連携していく必要がある。 ・保護者が入会継続を希望していても、子どもが希望しない場合があるのではないか。児童数見込みに際しても把握することが大事。 ・市社会福祉協議会の第2種社会福祉事業としての経営方針を確認したい。 ・魅力ある放課後児童クラブづくりが必要。 ・保護者が子育てしやすい社会づくりが必要。 	